

土屋新聞

発行所
株式会社 土屋
0120-547-278

家のことは何でも
ツチャ



耐震診断・補強の推進、急務に

木造住宅の約50%、大破の危険

全木造住宅280万戸のうち、約43%が大地震で倒壊の恐れがある。調査で、大破の恐れがあるのは約40%。政府の深刻な現状が明らかになった。

5月規定が盛り込まれた耐震性住宅の割合は、約6%。調査によると、大破の恐れがあるのは約40%。調査で、大破の恐れがあるのは約40%。

建築年度別耐震診断率の推移。2003年度は約6%、2004年度は約10%、2005年度は約15%と増加している。政府は、耐震診断率の向上を促進するため、耐震診断料の減免措置を実施している。

調査対象となる住宅の数は、約280万戸。そのうち、耐震診断を受けた住宅は約140万戸。耐震診断を受けた住宅のうち、大破の恐れがあるのは約40%。



耐震診断を受けた住宅のうち、大破の恐れがあるのは約40%。調査で、大破の恐れがあるのは約40%。

	内容	耐震補強が必要な全木造住宅数	耐震補強が必要な戸建住宅数
推計1	耐震性に欠ける危険住宅数	12,213,000棟	11,645,800棟
推計2	「倒壊又は大破壊の危険」住宅数	14,092,400棟	13,729,900棟
推計3	(東海地震の被害率想定から) [全壊]	14,931,100棟	14,370,800棟
		(15,325,300戸)	(14,751,200戸)

出典：「木造住宅の耐震性に係わる現状とあり方に関する調査報告書」
06年1月 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合、NPO法人環境・災害対策研究所

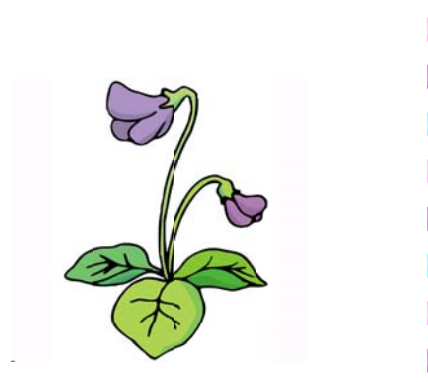
可社まの1際こ戸
欠会なみ0のとず
でのいで万改でつ
あ、は棟築も増
強耐住で棟あ加
制震宅あ数るし
的のをりは。て
な目耐、多さい
対的震自くらく
策と化然てにと
がしは耐も、い
た進震約実う

一年を振り返って... リフォームアドバイザー 田川 久恵

た常をたけわ事とうり
に両。れりが感間返昨
奇立仕ば、全じにつ年
立出事い自てま過ての
つ来とけ分、しぎみ年
自ずプな自中たたて末
分、らい身途。一、
が心イー反半や年あ一
いのべ年省端りだつ年
ま中1でしにたつとをし
してトしな終いたい振

でにけりの専ち 年
今は余な方役門、突4(棟
年な裕いと割的一然ヶ土
はいを事、なか、月屋
仕か持が学お事ら建がに
事とて沢ば客、の築経入
面思な山な様営出にち社
、いかあけと業発興まし
プまつりれのとで味して
ラすた、ば交しすをた、
イ。の心いわた。持。一

ベイト面で
“やりとげた”
なるという晴々、努力して一年に



さる煙果でと性場危喫 がる煙トる3とよイ倍疾コ日喫にはをよ4に年
れ重量かはがが合陰煙 一わ死者スこ倍比るとで患をあ煙35、分び万か代こ
た要とらな多消に性に喫か亡よもと、較死スあに吸た者り全析死3け半の
ない、いいえよがよ煙つ率り1が女す亡モつようりと49例し亡0てば研
メう健。がるつ大る量たがもカ判性る率したる喫1比歳とたに0収か究
ッの康今、とてき健を。50、1明がとはカ。死煙く較でもも関0集らは
セはに回実思はく康減 %全の。約、1こ亡者4すあ研のす例し2、
1な安の際わそ低にら 高死方ま5男非のう率は本るつ究。るのた01
ジい全研はれの及せ い因がた倍性喫肺しが、のとた開対デ健男09
がとな究そる可しぼば こに非ラでが煙癌た約心タ、。始象1康女27
示す喫結うこ能、す、 とみ喫イあ約者にラ3臓バ1非時者タお約年0

健康コーナー

1日1~4本のたばこでも心臓疾患、肺癌(がん)のリスクは3倍

無料耐震診断のお知らせ

TCC会員の皆様及び会員紹介者様
(なお、建物は、木造平屋建、2階建てに限ります)

是非、この機会に住いの安全性をご確認下さい。

株式会社 土屋 一級建築士事務所

大阪府知事許可
(口) 第17229号

建て替え、リフォーム相談受付中! TEL 072-685-5524